

各位

上場会社名 株式会社 フォーバル  
 代表者 代表取締役会長兼社長 大久保 秀夫  
 (コード番号 8275)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 加藤 康二  
 (TEL 03-3498-1541)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、平成22年3月5日に公表した平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の連結業績予想ならびに平成21年11月9日に公表した平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の個別業績予想の修正を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,300	400	400	350	25.52
今回発表予想(B)	32,300	520	500	450	32.81
増減額(B-A)	0	120	100	100	
増減率(%)	0.0	30.0	25.0	28.6	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	34,358	112	17	△1,879	△136.58

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,800	170	400	300	21.79
今回発表予想(B)	12,000	230	460	360	26.25
増減額(B-A)	200	60	60	60	
増減率(%)	1.7	35.3	15.0	20.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	12,486	201	338	△2,697	△196.00

修正の理由

当社及びグループ会社の事業環境を指し示す指数のひとつであるリース取扱高において、社団法人リース事業協会が発表している2010年2月の統計によれば、2009年4月～2010年2月累計の通信機器及び関連機器の前年同期間対比は88.6%、事務用機器の同期間対比は79.6%となっており回復の兆しも見えてはいますが、依然として厳しい状況が続いております。

そのような環境下においてフォーバルにおいては、ITコンサルティングサービスの「アイコン」が順調に推移していることにより、安定収益を確保し、さらに携帯電話と社内システムとを結んだ営業の行動管理システムの有効活用が浸透し営業活動の効率化し、3月の売上高も好調に推移したことにより、売上高が120億円と前回の予想に対し2億円上回る見通しで、その結果売上総利益が増加し営業利益、経常利益、当期純利益がそれぞれ60百万円増加する見通しです。

また連結ベースでは、売上高は精査中ではありますが概ね予想通りに推移する見通しです。利益面についてはフォーバルの増益に加え、上場子会社2社が堅調に推移していること、また収益を大きくは見込んでいなかった他の子会社群が携帯電話販売事業を行うリンクアップならびに主としてフォーバルの「代理店管理業務」、「営業事務管理業務」、「電話機を中心とした設置工事」を受託している子会社等がフォーバルの3月業績に連動し好調で、前回予想に対して営業利益では520百万円と増益になる見通しです。経常利益、当期純利益も営業利益の増益を主因にそれぞれ前回の予想に対して大幅に増益となる見通しです。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上